

# 林野火災にご注意をお願いします。

アメリカのロサンゼルスにおいて続く山火事で、保安官事務所は 13 日、行方不明者が 23 人に上ると発表されました。死者はこれまでに 24 人。焼失面積は 160 平方キロ以上とされていますが、被害の全容は見通せておらず、いまだ拡大する一方です。

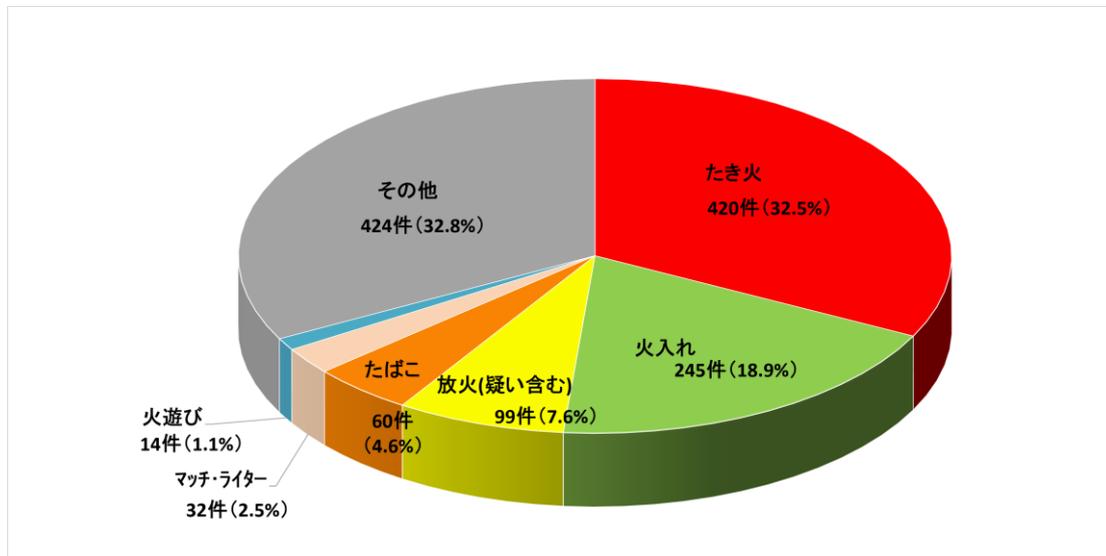
こちらは顕著な例ですが、林野火災は約7割が冬から春(1月～5月)にかけて集中して発生しており、冬は森林内に落ち葉が積もって燃えやすい状態になっていることや、風が強いこと、乾燥した空気などの自然条件が重なること、また、春先は、行楽や山菜採りのために山に入る人が増加するほか、農作業に由来する枯草焼きなどが山林に飛び火することも原因となり発生しています。

発生した林野火災のうち原因が明らかなものについてみれば、「たき火」が 32.5%で最も多く、次いで「火入れ」、「放火(疑い含む)」、「たばこ」となっています。

我が国の林野火災は、その多くが人間の不注意などによるものとなっています。

一方、落雷など自然現象によるものは稀です。

原因別出火件数(平成 30 年～令和 4 年の平均)



林野火災は、ひとたび発生すれば人々の生命や財産に多大なる被害を与える可能性が大きいいため、林野付近での火の取扱いには十分に気を付けていただきますよう宗像地区消防本部からお願いいたします。



忘れない  
山の恵みと  
火の始末

山火事予防

山火事予防運動実施中  
主唱：林野庁・消防庁



令和5年度山火事予防ポスター原画・標語募集  
主催：(一財)日本森林林業振興会  
後援：文部科学省・消防庁・林野庁・  
全国森林組合連合会・森林火災対策協会

ポスター原案  
香川県立高松工芸高等学校2年 三國 千波  
標語  
兵庫県私立神戸学院大学附属高等学校2年 加田平羽奈子